

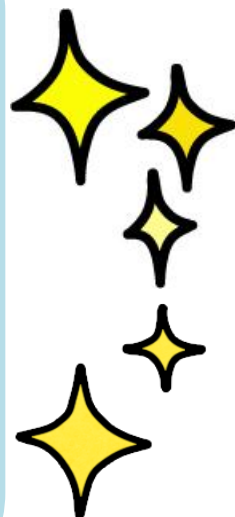
県立多治見病院 緩和ケアチーム通信



発行：県立多治見病院 緩和ケアチーム VOL.27 2013年 6月号
文責：志津 匡人・西江 裕忠 編集：櫻田 亜矢子

こんにちは、緩和ケアチーム身体症状担当の呼吸器内科、志津匡人です。先日日本緩和医療学会第18回学術大会に参加してきました。今回はその中から本年3月より本邦にて使用可能となったオピオイド、メサペイン錠について紹介します。

メサペイン錠はモルヒネなどと同じオピオイドに分類される鎮痛剤ですが、QT 延長による心室頻拍のリスクや、体内動態に個人差があり、半減期も長いことから過量投与や呼吸抑制のリスクが高いことから、本邦においては、WHO の除痛ラダーの第3段階で使うモルヒネ等と同じ位置づけではなく、モルヒネ、オキシコドン、フェンタニルの投与によっても疼痛管理が困難な場合に対し、上記リスクを踏まえた上で投与が適切と判断された症例にのみ使用する薬剤となります。そのため本剤のリスクなどについて十分に管理・説明できる医師・医療機関・管理薬剤師のいる薬局のもとで用いられることが条件となっております。現在当院の緩和ケアチームでもモルヒネなどにてコントロールが困難な難治性疼痛の患者様に対して、メサペインが処方できるよう準備を進めております。もし、そういった症例にお悩みの場合は、一度当院緩和ケアチームに一報頂ければ、使用の適応、処方について検討させていただきます。



緩和ケアチーム身体症状担当、消化器内科の西江裕忠です。私は消化器内科医として日々診療を行っておりますが、週1回の緩和ケアチームカンファレンスに検討患者さんの身体症状緩和に対して少しでもアドバイスができればと思い参加させて頂いております。多職種のスタッフで構成される緩和ケアチームでのカンファレンスでは日常診療では得られない貴重な知識が多く得られ、私自身も勉強になります。今回、この緩和ケアチーム通信でも、同じく身体症状担当で、呼吸器内科の志津先生が緩和医療学会に参加され、最新の知見をご紹介されていると思います。残念ながら私からは今回はとりとめのない話だけとなりましたが、次回原稿依頼があった際にはみなさんに発信できる何らかの情報をお届けできればと思います。



7月の勉強会予定

第2回 緩和ケア勉強会

日時：7月11日 18時～19時半

場所：中央診療本館3階講堂

内容：『在宅医療機関の活動紹介 ～浜田・浅井医院～』

(浜田・浅井医院：浜田 茂彰 Dr.)

『緩和ケアチームスタッフからのお話』

(がん看護専門看護師：山本 知枝子／薬剤師：兼松 友紀)

